

朝夕はほんの少しだけ涼しさを肌に感じるようになりました。また、虫の音の合唱に「秋」を感じています。加えて、ニョキニョキと伸びた茎の先に赤や黄、白色の花を付けた彼岸花の群れを通勤途中、田んぼの畦で目にします。

地球温暖化により亜熱帯化が進む日本では四季の喪失を危惧する声もありますが、群生する彼岸花が「秋」と言う季節の存在を鼓舞しているように感じます。彼岸花の開花時期には気温差が起因するそうですから、季節が確実に「夏から秋へ」移行している証でもあります。願わくば人間を含めた全ての動・植物が生氣を取り戻し活動する「秋」がもうしばらく続くことを祈るばかりです。

地域と繋がる活動のあれこれ(9月編)

敬老の日に「老人福祉センターへ団扇を贈ろう」



一昨年度、宇土小学校の特別支援学級の子供たちに制作をお願いして始めた取組も今年で3年目を迎えました。昨年度は花園小学校の子供たち、そして今年度は新たに宇土東小学校の子供たちにまで輪を広げる取組になりました。老人福祉センター利用者の皆さんも、届く団扇を毎年心待ちにされておられるようです。センターより届いた返しのお礼状と写真をそれぞれの小学校へ届けました。

双方向からの交流活動となっています。



宇土小



花園小



宇土東

ボランティアによる読み聞かせ

宇土市内ではすべての小中学校で各ボランティアサークルによる読み聞かせが行われており、他地域に誇れる素晴らしい活動と言えます。

そんな中に鶴城中学校では、毎年8月にボランティアを募って9月から翌年2月まで毎月1回、計6回の読み聞かせ活動が始まりました。今では読み聞かせをしていただくボランティアの方の確保もスムーズにできることに感謝しています。ほとんどの方が小学校で読み聞かせをされている方で、この活動も小学校から中学校までの縦のつながりが定着しつつある活動になっていることを大変ありがたく思っています。



生徒によるボランティアのお迎え

今年度のボランティア養成講座「秋の花植え」を11月18日(火)午後2時から佃農園で開催します。11月7日(金)が応募締め切りです。ご参加をお待ちしております。各公民館、図書館に案内チラシを掲示していますのでご参照ください。きれいな秋の花で寄せ植えを楽しみませんか！

地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。